



Washburn
University

Founded 1865

2023年度

海外研修 《春期実施》

募集要項・プログラムガイド

アメリカ・ウオッシュバン大学派遣
オーストラリア・グリフィス大学派遣



 **Griffith** UNIVERSITY
Nathan Campus

福岡大学国際センター

Center for International Programs
Fukuoka University

【目次】

◆ 2023年度海外研修《春期実施》	P.1
◆ プログラムガイド	
アメリカ・ウオッシュバン大学研修	P.2
過年度参加者体験記	P.3
オーストラリア・グリフィス大学研修	P.4
過年度参加者体験記	P.5
◆ サポートサービスについて	P.6
◆ 応募方法	P.7
◆ 参加が決まったら	P.7
◆ 参加上の留意事項	P.8

海外研修に関するお問い合わせは下記にご連絡ください。

福岡大学国際センター

<https://www.kokusai.fukuoka-u.ac.jp>

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

(中央図書館6階)

092-871-6631 (代表)

kokusai@adm.fukuoka-u.ac.jp

(窓口対応時間／平日8:50～16:50)



✈ 2023年度海外研修《春期実施》

募集概要		
派遣先	ウオッシュバン大学 (アメリカ・カンザス州)	グリフィス大学 (オーストラリア・クイーンズランド州)
研修期間	令和6年2月17日(土)～3月16日(土)【1か月】	
応募資格	全学部生1～3年次生(医学部医学科および薬学部生は1～4年次生)	
募集人員	21人	21人
応募期間	令和5年9月11日(月)～9月22日(金)16時30分	
研修費用	47万円	
経費助成	往復渡航費 ※ただし、参加を取り止める場合や個人の都合により便を変更したなどにかかる一切の費用(キャンセル料含む)は本人負担となります。	
選考試験(筆記)	令和5年9月30日(土) 英語能力試験・日本語による作文 (過去の試験問題は国際センター事務室で閲覧できます。)	
選考試験(面接)	令和5年10月23日(月)～10月31日(火) (学部によって面接日が異なります。)	
参加者発表	11月中旬 FUポータルのお知らせおよび国際センターの掲示板(中央図書館6階、中央掲示板)で発表します。	
単位認定	研修に参加した2024年度の外国語科目「海外英語研修(2単位)」として認定します。 ※ただし、卒業要件単位としての取り扱いは学則および学科履修規定によります。	
応募について	過去にこの研修に参加した方は、応募できません。ただし、蔚山大学校研修に参加した方は、ウオッシュバン大学またはグリフィス大学の研修に応募できます。また、海外語学研修(揚州大学)等同時期に実施される他の研修との併願はできません。 <u>なお、応募後の研修先の変更はできません。</u>	

理系学部3年次生の皆さんへ

大学院飛び級試験は海外研修期間の2月下旬に実施されるため、飛び級試験の受験資格を得ても受験できないことを留意の上、海外研修に応募してください。

研修に応募する皆さんへ

2023年度後期試験の結果、2月下旬～3月上旬に行われる追試・再試を受験しなければならない場合や学部での履修登録関係の行事または進路に関わる行事などが研修期間内に実施される場合には、この研修に参加できないので、日程の確認をした上で応募してください。特に卒業や進級がかかる皆さんはこの点に留意し、後期試験で単位を落とさないように全力で臨むようにしてください。また、参加を取りやめる場合、如何なる理由があってもキャンセル料を支払わなければなりません。



アメリカ・ウオッシュバン大学研修



大学概要	創立	1865年
	協定締結年	1984年
所在地	所在地	Topeka, Kansas 66621 USA
	連絡先	International Center TEL: +1 785 670 1051 FAX: +1 785 670 1067
	学部	法、経営、教育、看護、文理
宿泊先	学生寮およびホームステイ (2泊3日)	
引率者	なし	
査証	不要 外国籍の方が必要な場合は各自にて取得してください。	
電子渡航認証 (ESTA)	必要 ※各自で取得する必要はありません。	
旅券必要残存有効期間	日本帰国時まで有効なものが必要です。	

授業

本学学生の英語能力に合わせて特別に組まれた授業です。2クラスに分かれ、英語教育において経験豊富な2人の先生が交代で英語の授業を行います。内容は、会話を中心とした授業と、文法やアメリカ文化を中心とした授業で構成されており、課外授業やダンスなども取り入れられたとても楽しい授業です。また、正規授業の聴講もできますので、自分の興味のある授業に参加してみてください。アメリカの大学の授業形態や、学生の受講態度を見るのも大変良い勉強になるでしょう。

学生寮

宿泊先は主に学生寮です。キャンパス内にある数箇所の寮にそれぞれ分かれて寮生活を体験します。寮によって多少施設に差がありますが、キャンパスホストが生活面のサポートをしてくれます。食事は、寮または学内の食堂で取ります。アメリカの大学生の学生生活に直に触れ、思う存分語り合ってください。

ホームステイ

2泊3日程度のホームステイも体験します。家族の一員として過ごすことも、アメリカを知る大切な要素であり、トピカ市民の優しく温かい心に触れるでしょう。ホストファミリーは、歓迎会や歓送会にも参加し本学学生の訪問を心待ちにしています。

オクラホマシティ・ダラス見学 (バスツアー)

研修行程の最後に取り入れている企画です。アメリカに来てその広大さを実感できるのがこのバスツアー。行き先は、アメリカ南西部に位置し、カウボーイの街として知られるオクラホマ州のオクラホマシティとアメリカ南部を代表する大都市であり、古い歴史を持ちながら、ファッションの最先端基地としても知られるテキサス州のダラスです。主に博物館を見学します。見学研修を通じて、アメリカの文化、歴史を満喫できます。

研修費用に含まれるもの

- ・授業料 (講師料、テキスト代、教材費など)
- ・現地の見学研修費用
- ・食費 (2/17ウェルカムディナー、3/7フォーマルディナー、3/12-15オクラホマシティ・ダラス・テキサス見学)
- ・宿泊費
- ・「危機管理支援システム(J-TAS)」会費
- ・海外旅行保険料 (学研災付帯海外留学保険)
- ・海外送金など各種銀行振込手数料
- ・電子渡航認証システム申請費用 (代行手数料含む)

研修費用に含まれないもの

- ・パスポート申請費用 (未取得者・更新者のみ)
- ・食費 (2/17夜、3/7夜、3/12-15を除く)
- ・個人的な必要経費 (小遣いなど)

日程表

日	都市	予定
2月17日	福岡 カンザスシティ	福岡発、搭乗便にてカンザスシティへ ウェルカムディナー
2月18日 ～ 3月11日	トピカ	歓迎会 オリエンテーション 正規授業 英語クラス トピカ市内見学 ホームステイ 修了式・フォーマルディナー
3月12日 ～ 3月15日	オクラホマ ダラス テキサス	オクラホマシティ見学 ダラス見学 テキサス見学 ダラス・フォートワース空港発
3月16日	福岡	福岡到着後、解散

*日程は変更になる場合があります。

ウオッシュバン大学研修

研修中は、大学内外、老若男女問わず、たくさんの方々と話したため、その中で会話のパターンや感覚を掴めたのは今回の大きな収穫でした。中でも、アメリカの友人と話していて将来の夢を尋ねられた時、私には明確な夢がないため「普通に企業に就職したい」と答えるとつまらなそうな顔をされてしまったのが大変印象に残っています。彼らに夢を聞くと、全員が明確な職業名で答えてくれました。その上その大抵が自らの専門科目に沿った将来設計をしており、中にはその道のサークルに所属している人やジャーナリストを目指していてもうすでに趣味で書き物をしている人もいました。最終日にスタッフのハイディと話す機会があったのでこのことについて話してみたところ、「（何かに対して）情熱を持っていることは、アメリカ人にとってはとても重要なことなのよ」というような返答をいただきました。つまり、アメリカのそういった風潮が、若者に将来の目標を持たせ、意欲的に学習させているのです。それだけではなく、アメリカのキャリア教育は日本よりも早い段階で行われているため、アメリカの若者は明確な将来の夢を持ちやすい、と学科の講義で教わったことがあります。自分が何のために大学で学ぶのかを今回改めて考えさせられた気がします。今後は彼らの姿を思い出しながら、自らをより良い方向に成長させられるように励んでいこうと思います。

人文学部教育・臨床心理学科

私がウオッシュバン大学で過ごした1か月間の研修はとても有意義なものでした。この1か月で私が得たものはアメリカでしかできない貴重な経験と研修メンバーとの深い絆です。初めてのアメリカ、全員見ず知らずの研修メンバー、初めての寮生活、英語しか伝わらない生活。最初は不安だらけで1か月やっていけるかとても心配でした。しかし、そんな心配は無駄足でした。ウオッシュバン大学は生徒数が少ないアットホームな大学で、私たちを温かく迎えてくれました。授業も少人数で一人一人を見てくれる良い大学だと在校生も話していて、みんな自由に生き生きとしている印象でした。アジア人ということで差別などされないか不安だったのですが、全くなく、目が合うと微笑んでくれたり挨拶してくれたり優しい人ばかりの大学でした。キャンパスはとても広くて、自然に囲まれていて穏やかで時間の流れがのんびりとしていました。在校生との交流、正規授業の聴講、パーティ、アメリカ企業の説明会、大学バスケットチームの試合観戦、カンザスシティ観光、ホームステイ、たくさんのイベントがあり、とても充実した日々でした。1か月は長くもあり短くもあり、間違いなく大学生活で一番充実しており楽しい時間でした。英語の勉強の課題や新たなモチベーションや目標もできたのでこの研修で得たものを無駄にせず、これからの大学生活に生かしていきたいです。

法学部法律学科

私が今回の研修で感じたことはたくさんありますが、その中で特にいいなと感じたのはアメリカ人の人柄です。一度もしゃべったことのない人が笑顔で挨拶してくれたり、落とし物を探していると一緒に探してくれたり、扉を人が通り過ぎるまで支えて待っていてくれたり、何かしてあげると必ずお礼の言葉を言ってくれるなど、日本人にはない余裕を持っており、とても感動しました。自分の心の中では思っている言葉としてはっきりと言わないと相手に伝わらないということを変更して実感することができました。また機会があれば海外へ留学したいと考えるようになり、これからも英語の勉強に力を入れていきたいと思っています。今回の研修は今まで感じる事ができなかったことを感じる事ができて本当に充実した1か月でした。この経験を生かして残りの大学生活を有意義にするための努力をしていきたいと思います。

経済学部産業経済学科

この研修では、多くの人と交流する機会を与えてくださったので、英語を使う頻度が増えたり、そこでの交流を通して、その後一緒にディナーに行ったり、ボーリングに行ったり、ビリヤードをしたりとイベントだけの関係で終わらないような海外の友達ができました。現地の人と交流して分かったことは、聞くこと、伝えることの難しさです。私は日ごろ何気なく言葉を聞いているから気づかなかったのですが、英語を聞き、それを日本語に変換し、返事を日本語で考え、英語に変換、と時間がかかるし、さらに少しでも知らない単語があると何を言われているかわからなくなるといった難しさを実感しました。それでも私は積極的な姿勢で取り組みました。1か月間という留学にしては短い期間ですが、多くの新しい経験、友達ができ、充実した非日常的な日々を過ごすことができました。この研修に参加して本当に良かったと感じました。この研修で学んだことは必ず自分のために繋がると思います。

工学部電気工学科



オーストラリア・グリフィス大学研修



大学概要	創立	1971年
	協定締結年	1991年
	所在地	Nathan, Queensland 4111 AUSTRALIA
	連絡先	Griffith English Language Institute TEL: +61 7 373 57083 FAX: +61 7 373 55980
学部	経営、アジア・国際研究、 オーストラリア環境研究、人文、 理工学	
宿泊先	ホームステイ	
引率者	なし	
査証	不要 外国籍の方が必要な場合は各自にて取得してく ださい。	
電子渡航認証 (ETAS)	必要 ※各自で取得する必要はありません。	
旅券必要残存 有効期間	日本帰国時まで有効なものがが必要です。	

研修費用に含まれるもの

- ・授業料（講師料、テキスト代、教材費など）
- ・現地の見学研修費用
- ・宿泊費
- ・食費（ホームステイ先から1日3食、3/2ストラトブローグ島日帰り旅行でのランチ）
- ・「危機管理支援システム(J-TAS)」会費
- ・海外旅行保険料（学研付帯海外留学保険）
- ・海外送金など各種銀行振込手数料
- ・電子渡航認証システム申請費用（代行手数料含む）

研修費用に含まれないもの

- ・パスポート申請費用（未取得者・更新者のみ）
- ・食費（2/24ドリームワールドでのランチ）
- ・個人的な必要経費（小遣いなど）

授業

グリフィス大学の付属機関であるEnglish Language Instituteで英語講座を受講します。充実した語学教育施設と、オーストラリアの最新情報を教材にした福岡大学生のために組まれた英語研修です。2クラスに分かれ2人の先生が指導します。会話を重視した授業で、日常で実際に使える英語表現を学びます。授業では、ゲームや音楽、ビデオ等を利用し、面白く楽しいものとなっています。また、グリフィス大学生と交流できる機会もあります。彼らに積極的に声をかけ、学生生活を楽しんでください。授業の最後にはプレゼンテーションを行います。

ホームステイ

この研修の魅力の一つは全期間ホームステイであることです。頼れるのは自分一人です。ホームステイは英語力を向上させる最も良い方法かもしれません。また、日常生活でオーストラリア人の生活や文化に触れることができる良い機会です。ホストファミリーと過ごす楽しい毎日はすばらしい思い出となるでしょう。

小旅行

環境保護に力を入れているオーストラリアは、美しい自然がいっぱいです。季節は夏、海と空の美しさ、ノース・ストラドブローク・アイランドの自然など、きっと感動の連続です。ブリスベン市内見学では、イタリア・ルネッサンス様式のシティホールを訪れ、展望台から市内を見渡すことができます。ドリームワールド見学では、オーストラリアの動物との触れ合いも体験できます。

日程表

日	都市	予定
2月17日	福岡	福岡発、搭乗便にてブリスベンへ
2月18日	ブリスベン	ブリスベン空港着 ホストファミリー対面
2月19日	ブリスベン	オリエンテーション キャンパスツアー
2月20日 ～ 3月14日	ブリスベン	英語授業 グリフィス大学生との交流 ドリームワールド見学 アボリジニ文化体験 ブリスベン市庁舎・時計塔見学 サーフィン体験 ストラトブローグ島日帰り旅行 野生動物紹介 修了式・歓送会
3月15日	ブリスベン	ブリスベン空港発
3月16日	福岡	福岡到着後、解散

*日程は変更になる場合があります。

グリフィス大学研修

この研修では様々なイベントが組まれていました。ドリームワールドやアイランド、アボリジニ体験、ブリスベン見学など、バス移動なので迷うこともないし、どの体験でもとても充実したものとなりました。アボリジニ体験ではペイント体験がありました。顔にペイントしてもらっている友達がいて少し驚きましたが、忘れられない体験になるだろうなと少し羨ましく思いました。アイランドでは泳げなかったけど、ウミガメを見ることができたり、綺麗なビーチを歩くことができ、とてもいい経験ができました。また、私はオーストラリアに行ったらコアラをどうしても抱っこしたかったのですが、その願いが叶いました。ぬいぐるみよりもふわふわしていて一生忘れられません。ちなみに大学構内でも野生のコアラに一度遭遇しました。大学の人がラッキーだといわれ嬉しかったです。

法学部法律学科

私が特に思い出に残っていることは、ホストファミリーに夜遅くに連れて行ってもらったブリスベンのクルージングです。これまで船というものにほとんど乗ったことがなかったので少し不安な気持ちで乗船していると、30分後には私が人生で見てきた中で最も美しい夜景が外に広がっていました。「外に出て写真を撮ってきていい？」とホストファミリーに聞くとすぐに外に飛び出しました。気づけば、あまりの美しさに写真を撮る100枚以上、動画も10回も撮っていて、後でびっくりしました。帰る時も、その景色が見えなくなるまでずっと見ていました。今でもその景色がしっかりと頭の中に思い浮かぶほど感動した思い出です。

経済学部経済学科

ホームステイではオーストラリア人の文化や習慣が体験でき、日本と異なる部分が想像以上にありました。例えば、生活リズムです。オーストラリアは日本に比べて一日の生活リズムが早く、起床時間や就寝時間、食事の時間も異なっていました。オーストラリアは残業する人も少なく、お店も閉店時間が早いです。みんなプライベートの時間を大事にしていて、とても魅力的だと思いました。また、食事についても異なる部分を見つけました。私のホストファミリーは、朝食はコーンフレーク、昼食はパンにベジマイトを塗ったものを出してくれたのですが、ベジマイトはオーストラリア特有のもので、日本でいう納豆の立場のものらしく、とても強烈な味でした。ホストファミリーは好んで食べていて驚きました。そして日ごろからナイフとフォークを使って食事をするので、お米をナイフとフォークで食べたことも印象的でした。これらの異なる文化や習慣の体験は、ホームステイならではのことで、新たなことを知ることができて良かったです。

商学部貿易学科

長いようで短かった研修でしたが、期間中ずっと感じたのはオーストラリアの人たちの心の温かさです。グリフィス大学の先生方や学生がとても親身になって接してくれたことや、街で困っていた時に現地の人が見ず知らずの外国人である私たちを助けてくれたこと、そしてホストファミリーがまるで我が子同然にかわいがってくれたこと。ありとあらゆる場面で人の心の温かさに触れることができました。たった1か月の研修でしたが、もうすでにオーストラリアに戻りたいと思うほどとても濃い日々を過ごしました。限られた時間の中でどれだけ自分のやりたいことができるか、時間の使い方も学べたような気がします。英語を学ぶという一番大きな目標だけでなく、オーストラリアの文化や歴史、様々な人種がいること、知らない人に対しても温かい心で接すること、それに対して感謝の気持ちを持つこと、とても多くのことを今回の研修で学びました。普段の生活ではできないような体験がしたいという私自身の目的が十分に達成された研修になりました。

薬学部薬学科

✈ サポートサービスについて

昨今、海外において在留邦人が巻き込まれる事件・事故が増加していることを踏まえて、福岡大学では海外留学生安全対策協議会（以下、「JCSOS」という。）と契約を結んでいます。

JCSOSは「危機管理支援システム（J-TAS : JCSOS Total Assistance System）」
[（https://www.jcsos.org/support/system/j_tas）](https://www.jcsos.org/support/system/j_tas)を提供していますので、
 海外旅行保険（学研災付帯海外留学保険）と併せて大学で一括して手続きを行います。



Support 1

海外旅行保険

補償内容は全研修で同じです。国や地域による違いはありません。渡航日数によって保険料が異なり、保険料は研修費に含まれます。

【参考情報】

補償内容	補償金額	渡航日数（保険期間）	保険料	渡航日数（保険期間）	保険料
傷害死亡	3,000万円	10日まで	5,700円	19日まで	8,110円
傷害後遺障害	3,000万円	11日まで	6,010円	21日まで	8,730円
治療・救済費用	無制限	12日まで	6,310円	23日まで	9,150円
疾病死亡	3,000万円	13日まで	6,590円	25日まで	9,520円
賠償責任危険	1億円	14日まで	6,920円	27日まで	9,870円
携行品損害	20万円	15日まで	7,180円	29日まで	10,170円
航空機寄託手荷物	3万円	17日まで	7,560円	31日まで	10,460円
航空機遅延	付帯有り				

・ 保険期間は日本出発当日を含めて数えます。研修ごとの日数は研修一覧およびプログラムガイドで確認できます。

Support 2

J-TAS（海外でのサポート）

海外危機管理サポートデスク（J-TAS）は、万が一の事件や事故が発生した場合に、担当者が現地の病院や搬送手段などを紹介するほか、滞在中に突発的に発生したトラブルに電話で24時間365日、日本語または英語で対応してくれるサービスを受けられます。

そして、海外旅行保険では、入院、治療、検査、カウンセリングなどの医療費、弁護士費用や拉致誘拐対応の専門家にかかる支援費などが補償されます。

[（https://www.jcsos.org/traveler）](https://www.jcsos.org/traveler)



※ J-TASは海外での緊急アシスタンスサービスを提供する東京海上日動火災保険のグループ会社、東京海上インターナショナルアシスタンスが運営しています。



ケガや病気になったとき



近くの病院を
案内してほしいとき



パスポート等の盗難に
遭ったとき



携行品が破損した時



健康・メンタル面の
相談がしたいとき



その他日常相談全般

✈ 応募方法

応募期間：9月11日（月）～9月22日（金）16時30分

パソコンから以下の要領で応募してください。スマートフォンで応募した場合、不具合が生じる場合があります。

応募方法

- ①FUポータルにログイン。
- ②「学生生活」メニューを選択し、「交換留学・海外研修」の『申請』ボタンをクリック。
- ③「海外研修」項目から参加を希望する大学を選択し、「申請受付（新規入力）」の〔○〕をクリック。
- ④応募に必要な情報を入力し、最後に右下の『登録』ボタンを必ずクリック。
- ⑤入力結果を確認し「時間割表」を印刷後、手書きで授業が入っているところに○をつける。
- ⑥⑤で記入した「時間割表」を応募期間中に国際センター事務室に提出。

注意：応募期間内であれば、申請受付画面から変更は可能ですが、手続完了後の変更は国際センター事務室に直接申し出てください。

✈ 参加が決まったら

研修費残金納入 （銀行振込）

11月27日（月）～11月30日（木）

- 参加決定後、参加を取りやめる場合はキャンセル料が課せられます。
- 参加人数や為替レートの変動により研修費が変更になる場合があります。

必要書類の提出

11月30日（木）締切

- 研修生カード（所定様式）
- 帰国まで有効なパスポートのコピー
- 申請書（所定様式）
- ESSAY SHEET（ウオッシュユバン大学研修生のみ）
- ホストファミリーカード（グリフィス大学研修生のみ）
- パスポートサイズ顔写真1枚
- 誓約書・同意書（所定様式）
- 自己紹介カード（所定様式）

オリエンテーション

- 出発までに2回実施します。研修内容、生活上の留意点、危機管理、渡航手続などについて説明を行います。1回でも欠席すると研修に参加できません。
第1回：12月11日（月）～16日（土）のうち1日 予定
（参加者の時間割を見て調整します。）
第2回：令和6年1月29日（月）予定

留学先へ出発

出発当日は忘れ物がないよう、時間厳守で指定場所に集合してください。

留学先から帰国

- 「研修報告書」を提出してください。「研修報告書」は、皆さんの経験を次に参加する学生に伝えることを目的としています。今後語学研修に参加しようと考えている学生にとって、実際に参加された皆さんの経験が大変貴重な資料となりますので、ぜひ率直な意見を聞かせてください。「研修報告書」の内容は国際センター内で共有のうえ、参考情報として今後国際ウェブサイトや留学プログラムガイダンスなどで個人情報情報を伏せて公開する場合があります。
- 「研修明細書」を発行します。また、研修費用に残金が生じた場合は返還します。
- この研修により修得した「海外英語研修（2単位）」は2024年度の登録分として扱われますので、2024年4月の履修登録時にWeb履修登録の初期画面【集中講義等の登録科目】の欄を確認してください。なお、単位認定について不明な点があれば、教務二課・教務三課に問い合わせてください。

参加上の留意事項

1. 出発から帰国までの行動は、すべて個人の責任において行ってください。**研修生として相応しくない行動があった場合には、その資格を取り消すことがあります。**その際にかかる一切の費用は本人が負担するものとします。
2. 引率者は同行しません。現地スタッフが対応します。研修中は現地スタッフ、研修生リーダーの指示に従って行動し、決められた規則や時間を厳守してください。
3. オリエンテーションは、出入国に手続きなど海外渡航に関わる重要な情報のみならず、参加者全員が共通認識として知っておくべき現地でのプログラム内容や生活面、勉学面での情報を得るための事前研修です。予定されている2回のオリエンテーションには、必ず出席してください（オリエンテーションの予定についてはP.7を参照してください）。
4. プログラムに組まれているすべての授業、見学研修、交流授業に出席することが原則となっています。**研修先大学から報告される成績評価によっては単位が認められないこともあります。**
5. 研修の参加については、保証人（父母等）の同意が必要です。参加決定後、所定の誓約書・同意書を提出していただきます。
6. 人種、宗教、職業、家族構成、生活習慣などを理由に、ホームステイ先を変更することはできません。日本の家庭が一つひとつ違うように、ホームステイに協力してくれる家族の形態も様々です。ここで大切なことは相手を尊重し、理解し合うことであり、ホストファミリーと生活を共にし、生活習慣や文化の違いを体験しながら相互理解を深めることにホームステイの意義があります。
7. 心身の健康に心配のある方、または現在治療中で医師から海外渡航を止められている方は、研修に参加することができません。
8. 皆さんの海外での安全確保のために、国際センターが提示する「海外旅行保険」および「危機管理支援システム（J-TAS）」の加入を参加の必須条件としています。詳細はP.6を参照してください。
9. 自転車やバイクの運転、深夜の飲酒は禁止します。また、団体行動の中にもプライバシーの尊重に十分留意してください。
10. **個人の都合による日程の変更は一切認められません。福岡離発着の全日程に参加していただきます。**
11. 研修行程において、天候不良、天才地変、戦乱、暴動等により運行機関が不通・遅延となった場合の研修日程の変更で生じた一切の費用は自己負担となります。
12. 派遣先国の国情、大学の事情等により、研修内容の変更や研修の中止をする場合があります。